

冬の服装について

2025年11月
大東市立住道南小学校 生活指導部

気温も低くなり、寒さに耐えられるような服装が必要な季節になりました。寒い時の服装についての学校の約束を家の人と確認しておきましょう。

【登下校について】

×（危険なのでやめましょう。）

・マフラー

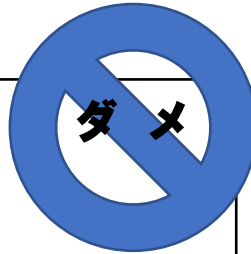
→何かに引っかかると、首がしまってしまうかもしれません。

・イヤーマフ（耳あて）をつける・上着のフードをかぶる

→自転車や自動車の近づいてくる音が聞こえにくくなるなど危険を知らせる音に気付にくくなります。また、フードをかぶると見える範囲がせまくなって危ないです。

・ポケットに手を入れる

→服装とは関係ありませんが、寒いとポケットに手を入れる人が増えます。転んでしまったときに、自分の体を支えられず危険です。また、猫背になり、目線も下を向いてしまうので周囲の状況に気づきにくく危険です。



○（してもいいです）

・ネックウォーマー

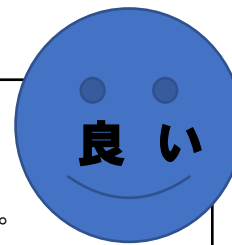
→マフラーよりは引っかかりにくいので、首を温めるために利用しましょう。

・コートやジャケット

→寒い季節とは言え、豪雪地帯ではありませんから、イヤーマフやフードをせず厚手の服を着て登校するようにしましょう。

・手袋

→ポケットに手を入れると危険ですから、手が寒い時には手袋を利用しましょう。



【学校に着いたら】

- ・登下校中に身に付けてきた防寒具（ネックウォーマー、手袋、上着など）は、教室に着いたらすぐにランドセルの中にしまっておきましょう。これらの物は、登下校中の防寒用として使っているものなので、学校にいる間は必要ありません。休み時間や、体育の時間にも使いません。

↓

※その代わり、1枚トレーナーを用意しておいて、寒さを感じる時などは、それを着て過ごすようにしましょう。

- ・カイロは、学校には持ってこない・貼ってこないようにしましょう。

【体育の時の服装について】

- ・ひざ上にくるような長い靴下やタイツは、はかない。

→動きにくくなったり、汗がうまくかわかなかったりして運動には向いていません。また、汗をすったままのものを着続けると、体が冷える原因になってしまいます。

- ・月曜セットの持ち物で、体操服袋の中に体育用としてトレーナーを1枚入れておく。

→半袖、半ズボンが寒く感じるようであれば、**体育用のトレーナー、長ズボン（10月に案内しています）**を普段着のトレーナー・ズボンとは別で1枚用意しておきましょう。このトレーナー・ズボンは運動で使用します。自分も友達もひっかかってけがをしないようにフードやポケット、ひも、リボンやチャックのついていないものにしましょう。また、運動して汗をかくことも考えて、裏起毛やシャカシャカした生地のものは避けましょう。

- ・手袋をする際は、運動に適したものを使用しましょう。（手袋は、名前をきちんと記入しておいてください。）

【体育以外で体操服を着ている時】

- ・教室やろうかでは、寒くならないようにトレーナーやズボンを上に着て調整しましょう。
→いくら寒くても、登下校に着てきたような厚手の上着は着ないようにしましょう。
- ・運動場で遊ぶときは、必要に応じてトレーナーを着て遊ぶようにしましょう。

保護者の皆様へ

各学級で読み合わせを行っています。内容をご覧いただき、お子様の登校時の服装を考えて頂けたら、と思います。体調不良の時は、個別に各担任までご相談ください。よろしくお願いいたします。